



わかばと

校訓：自主・積極

令和5年9月14日

学校教育目標：志を立て、共に高め合う生徒の育成

校長 西山 敏明

2学期始業式での生徒代表の2学期の抱負を紹介します。(一部抜粋)

【1年】

2学期には、多くの行事がありますが、日々の学習も大切です。分からないことがあったら、その日のうちに理解できるようにしたいです。また、2学期は総務委員会に入りました。学級をまとめ、委員会を通して学校がより良いものになるよう頑張ります。そして、2学期の行事で特に頑張りたいことは合唱祭です。私はソプラノを担当します。整ったメロディーできれいな合唱になるように頑張ります。

【2年】

2学期に頑張りたいことは、「修学旅行」と「生徒会選挙」です。修学旅行では、自分たちで考え判断し行動していき、仲間を思いやる心を忘れず、最高の修学旅行になるよう頑張りたいです。生徒会選挙では、2年生が学校のリーダーとして動き出します。小野中の伝統を引き継ぎ、新たな伝統へと進化させていけるよう、学年全員でお互い切磋琢磨していきたいです。

【3年】

2学期、学年で頑張りたいことが2つあります。1つは、積極的な行事への参加です。今年4年ぶりに市音楽祭が開催されます。最上級生としての自覚を持ち、後輩の手本となる行動を心掛け、小野中の顔としてふさわしくなれるよう頑張りたいです。2つ目は、家庭学習に集中して取り組むことです。勉強しようと思っても、つい誘惑に負けてしまい、勉強に集中できなかったり、ながら勉強をしてしまうことがあります。その対策として、勉強のONとOFFの切り替えをしっかりとすることを考えました。今の自分の頑張りで、未来の自分が決まるとよく言われます。受験までの日数を「まだ、何日もある」と考えず、「あと何日しかない」と危機感を持って、長い2学期を、1日1日大切に過ごしていきたいです。

【生徒会】

皆さんは1学期の終業式で執行委員の久米さんが発表した「生徒会活動の課題」を覚えていますか。アルミ缶回収とあいさつ運動が挙げられました。アルミ缶回収の課題は、1学期、本数が少なかったり、つぶされていなかったり、本数を数えていなかったりしました。これらを踏まえ生徒会では呼びかけを強化していきます。みなさんは家にアルミ缶があれば協力してほしいです。次にあいさつ運動は、1学期は声が小さかったり、あいさつをしなかったりする人が見受けられました。これらを踏まえ、生徒会では皆さんが朝から元気に過ごせるような改善策を考えて実行していきます。

2学期は、合唱祭や生徒会役員選挙があります。1学期の体育大会で協力したように、合唱祭でも学級で協力して思い出に残るような合唱をしましょう。生徒会役員選挙では、1、2年生からたくさんの候補者が出てくれるのを楽しみにしています。

9月の予定

- 15日(金) 平和集会
- 20日(水) ~21日(木)
1年野外宿泊学習
- 26日(火) 専門委員会
- 28日(木) 市中総体駅伝選手激励式
生徒会集会
- 29日(金) 修学旅行2年保護者説明会

10月の予定

- 5日(木) 市中総体駅伝大会
- 10日(火) 3年第3回実力テスト
- 12日(木) 子どもの安全を守る日
- 13日(金) 小野中学校合唱祭
第2回学校運営協議会
- 18日(水) 諫早市音楽会
- 20日(金) 3年進路説明会

来校予定日

- スクールカウンセラー
9月20日(水)
- 10月4日(水)、18日(水)
- 心の相談員
9月21日(木)、25日(月)
- 10月5日(木)、10日(火)、12日(木)
- 19日(木)、26日(木)、30日(月)
- ALT
9月20日(水)、27日(水)
- 10月4日(水)、11日(水)、18日(水)
- 25日(水)

令和5年度 第1回「学校評価アンケート」結果をお伝えします。

1. 地域とのかかわりについて

①「1」の生徒のあいさつに関する評価は、保護者の評価が下がっている。「4」の学校からの情報発信は向上した。「5」「6」職員の地域との関わりに関しては、教員の自己評価が下がっている。

⇒（改善に向けて）○生徒の地域でのあいさつについては、継続的に指導が必要。○職員の地域との関わりについては、総合や地域行事等との関連の中でできる範囲で地域に関わっていくよう努める。

2. 生き方の学習について

②職員、生徒とも評価は下がっている項目が多い。保護者は上がっている。⇒（改善に向けて）○2学期以降の進路学習等を通して、将来を見据えた進路選択や、社会で生きていく上での姿勢・生き方について、実例や実践を交え、具体的に伝えるよう意識して指導に当たる。

3. 学力の向上について

③生徒、保護者の評価は、昨年度と比較すると上がっている項目が多い。ただし、授業での「1」「めあて」の提示、「12」「まとめ」「振り返り」の場の設定は、教職員、生徒の評価は下

評価項目	番号	評価内容	職員		生徒		保護者	
			R4	R5	R4	R5	R4	R5
地域とのかかわりについて	1	地域でのあいさつ	3.1	3.1	3.4	3.4	3.0	2.9
	2	地域行事への参加	3.3	3.3	2.7	2.7	2.8	2.8
	3	地域への関心	3.1	3.2	2.7	2.7	2.4	2.4
	4	学校だより等での情報発信	3.4	3.8	3.4	3.4	2.9	3.3
	5	職員の地域活動等への参加	3.5	3.1			3.1	3.2
	6	職員の地域との関わり	3.5	3.4				
生き方の学習について	7	進路指導、進学指導への取組	3.5	3.5	3.4	3.3	3.1	3.2
	8	将来に関わる講話や体験活動	3.6	3.4	3.3	3.2	3.0	3.0
	9	夢や希望を促す取組	3.4	3.3	3.0	3.1	2.7	2.9
	10	将来に向けての礼儀作法やマナー指導	3.2	3.4	3.4	3.4	2.9	2.8
学力の向上について	11	授業の「めあて」の提示	3.4	3.1	3.6	3.5		
	12	授業の「まとめ」「振り返り」の場の設定	3.3	3.1	3.3	3.3		
	13	授業の見通しの提示			3.4	3.5		
	14	わかりやすい言葉やICTの活用	3.1	3.1	3.3	3.4		
	15	思考・グループ活動の場の設定	3.0	3.3	3.5	3.6		
	16	自主学習ノートの取組			3.3	3.3		
	17	「きくこと」を意識した授業参加			3.4	3.4		
	18	身につけさせたい学力の明示	3.4	3.3			2.8	2.9
	19	学力向上のための取組の明示					2.8	3.0
	20	学力向上のための家庭・小学校との連携	2.9	2.9				
	21	学力向上にかかるデータの活用	3.0	3.4				
	22	家庭学習の仕方の提示					2.8	2.9
	23	「小野中スマホルール」の遵守			3.2	3.2	3.2	2.6
一人一人を大切に する指導について	24	一人一人への観察			3.1	3.4		
	25	不安や悩みの理解	3.4	3.2	3.2	3.3	3.0	3.0
	26	性格や特性にあった指導	3.5	3.3	3.1	3.1	2.9	3.1
	27	ほめて認める指導	3.3	3.4	3.1	3.2	3.1	3.1
	28	教職員・家庭との情報の共有	3.6	3.6				
いじめ防止について	29	家庭での会話					3.2	3.2
	30	いじめ防止基本方針の明示、理解	3.6	3.5			2.9	3.0
	31	いじめの早期発見	3.6	3.6	3.3	3.2	2.9	2.9
	32	いじめを許さない雰囲気	3.2	3.1	3.0	3.0	2.8	2.9
	33	いじめ対応への理解	3.5	3.5				
	34	いじめへの発言や行動			3.4	3.3		
	35	いじめ防止のための環境、相談窓口			3.3	3.3	2.9	3.0
生徒会活動について	36	自主的な生徒会活動	3.4	3.2	3.5	3.5		
	37	積極的なボランティア活動	3.6	3.4	3.5	3.2	3.1	3.2
	38	生徒会活動による責任感の伸長	3.5	3.3			3.3	3.3
	39	人権尊重やいじめ根絶にかかる活動	3.6	3.4	3.6	3.4		
	40	生徒会活動による協調性の伸長	3.5	3.3			3.2	3.1
	41	生徒会活動への積極的参加			3.4	3.3	3.2	3.2

がっている。⇒（改善に向けて）○授業の「めあて」「まとめ」については、全授業者が共通して行っていくこととして確実に取り組んでいく。④「23」小野中スマホルールの遵守に関する保護者の評価が極端に下がっている。⇒（改善に向けて）○本年度も育友会総会が書面開催となり、「小野中スマホルール」について話題にする場面が設定できなかった。○小野中スマホルールに関しては、昨年度までは、育友会で小中連携した取組として実践されていたが、本年度は単独の取組となった。

4. 一人ひとりを大切に
する指導について ⑤職員は下がっているが、生徒・保護者とも上がっている。⇒（改善に向けて）○個に応じた指導を行っている姿勢が、一定程度は生徒、保護者には伝わっているものとする。工夫しながら、生徒、保護者に対するきめ細やかなコミュニケーションを図っていくことが大事である。

5. いじめ防止について ⑥職員、生徒は下がっている項目が多く、保護者は上がっている。しかし、「31」「32」は依然として、保護者の評価は低いのは課題である。⇒（改善に向けて）○未然防止、早期発見、生徒理解のために、「学校生活を楽しくするアンケート」を今後も毎月実施し、時機を逃さず対応していく。○いじめ根絶集会や人権集会を通して生徒たちによる意識改革や、日常的な学級担任講話、道徳・学活等での指導、学校だより、ホームページ、育友会総会等により、いじめ防止の姿勢を明確に示していく。

6. 生徒会活動について ⑦教職員、生徒、保護者ともに評価は高い。しかし、昨年度との比較では、教職員、生徒の多くの項目で低下傾向である。→（改善に向けて）○総じて一定の理解が得られていると考えるが、生徒がより主体的に活発に活動し、生徒同士でよりよい学校づくりを行っている姿、雰囲気が出ているように、指導・支援を職員全体ですていく必要がある。